

知ってますか？

ひめじ防災マイスター 認定制度



姫路市の防災上の課題

人口減少社会に突入し、近年の気候変動に伴う豪雨災害や台風、山崎断層帯地震や南海トラフ巨大地震など、大規模な災害に対応可能な地域防災力の向上が喫緊の課題となっています。



ひめじ防災マイスター 認定制度とは？

地域防災活動の担い手と、高い防災知識やスキルをもった人材育成を目的として、単なる担い手・人材育成に留まらず、市が継続的・発展的に支援・協働していく仕組みとして、令和6年度から「ひめじ防災マイスター認定制度」を始めることとなりました。



ひめじ防災マイスター ってどんな人？

認定されるには「ひめじ防災マイスター認定講座」を受講する必要がありますが、年齢や職業の制限はありません。

- 広い防災の知識をもち、地域特性を理解している
- コミュニケーション能力、調整力のスキルを所有
- ボランティア、学校、企業等と地域をつなげる役割を担う以上、地域の防災活動について知識と熱意のある方達です。



ひめじ防災マイスター って何ができるの？

- 地域防災へのアドバイザーとして活躍
 - 積極的に住民への防災の普及啓発を行う
 - 地域特性にあった、取り組みを実施
- 活動に当たっては、市がマイスターに防災イベント等への派遣を依頼すること、マイスターが自主的に地域防災活動等に参加する方法があります。
- 例えば、
- ・市が実施する防災講演の講師・運営補助
 - ・地域が実施する防災訓練の企画、当日の進行支援…など

ひめじ防災マイスター認定講座の様子

「ひめじ防災マイスター認定講座」では、ひめじ防災マイスターの活動に必要な基本的な知識やスキルを、地域防災に関する知見をもった講師から学び、修了者をひめじ防災マイスターとして認定いたします。



【学識者による講義】

地域防災力の向上のための基本的な考え方と戦略に関する講義を通じ、姫路市の特性と災害リスクを学ぶ。

【地区防災計画の策定指導】

地区防災計画策定に求められる特徴的なノウハウについて理解するための講義やワークショップ形式の演習を通じ、進行役とファシリテーターの違いやファシリテーターの役割を学ぶ。



【プラザを活用した啓発講習】

姫路市防災センター1階にある「ひめじ防災プラザ」のコンテンツを体験しながら、市民向けに研修・啓発を実施する際のポイントを学ぶ。



【姫路市が行う防災対策に関する講義】

ハザードマップや命のパスポート、避難所開設訓練、姫路市災害時要援護者支援事業などの市民を対象とした本市の防災対策を学ぶ。



* 今後、講義内容は変更になる場合があります。